

中原駿レポート

★★ NYダウと日経平均 ★★

NI

By Shun Nakahara

コピー 対 外 配 布 厳 禁

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3丁目12番11号 GRANDE 人形町6階

No. 066 2020年8月17日

TEL 03-3669-0278

FAX 03-3668-4444

公式サイト <http://www.toushinippou.co.jp>

1. ポイント

<NYダウ>

1. 中長期見通し（底割れ。だが中長期的ボトムではない） 変更なし

中長期見通しは「0」の年の波動通り、年前半ピークアウト。1月ピークアウトの解釈は、僅かに拙速であったに過ぎない。

第3-4年サイクルの第3-15.5カ月サイクルは7月で13カ月目。最終的に2020年は4年サイクル下落と「0」の年（非常に弱気）を合わせた調整はいつでも起こりえるが単にレンジ止まりとなるかも。安値の時間的ターゲットは10~11月。

2. 短期見通し（22.3週サイクルは7月30日にボトムアウト。少なくとも4~5週の上昇がありえる） 変更

新22.3週サイクルかつ第一MCの3週目。第一MCは強気なので8週（6~9週）の大半を上昇で過ごす。押し目買い。ただし急落が起こった場合はまだ前22.3週サイクルが完了していない可能性も残る点には注意。

3. 留意点（第二MCのボトムである24,843に急速に近づく急落が示現した場合） 変更なし

第二MCボトムである24,843レベルに急速に接近する場合、22.3週サイクルはまだ完了していないものとして撤収する。

<日経平均株価>

1. 中長期見通し（3月19日の安値は長期相場サイクルのボトム） 変更なし

15.5カ月サイクル、4年サイクルはターゲット時間帯で3月にボトムアウトした。長期サイクルがボトムアウトした以上、第一15.5カ月サイクルは強気。ただし、2020年は4年サイクル下落と「0」の年（非常に弱気）から押しは深い可能性あり。

2. 短期見通し（新PCかつ第一MCの3週目。4~5週は上昇か） 変更

7月31日の急落はPCボトムであった。既に多くのレジスタンスも突破、上昇力からしてもPCボトム後の典型的な値動きとみなす。上昇は後1~2週、強ければ4週上げ続ける筈。

3. 留意点（21,710を終値で突破しさらに下落すること） 変更

PCボトムである21,710を割り込み、さらに下落した場合、PCはまだ終了していなかったものとし、撤収する。

2. NY ダウ分析

1. 日足アップデート

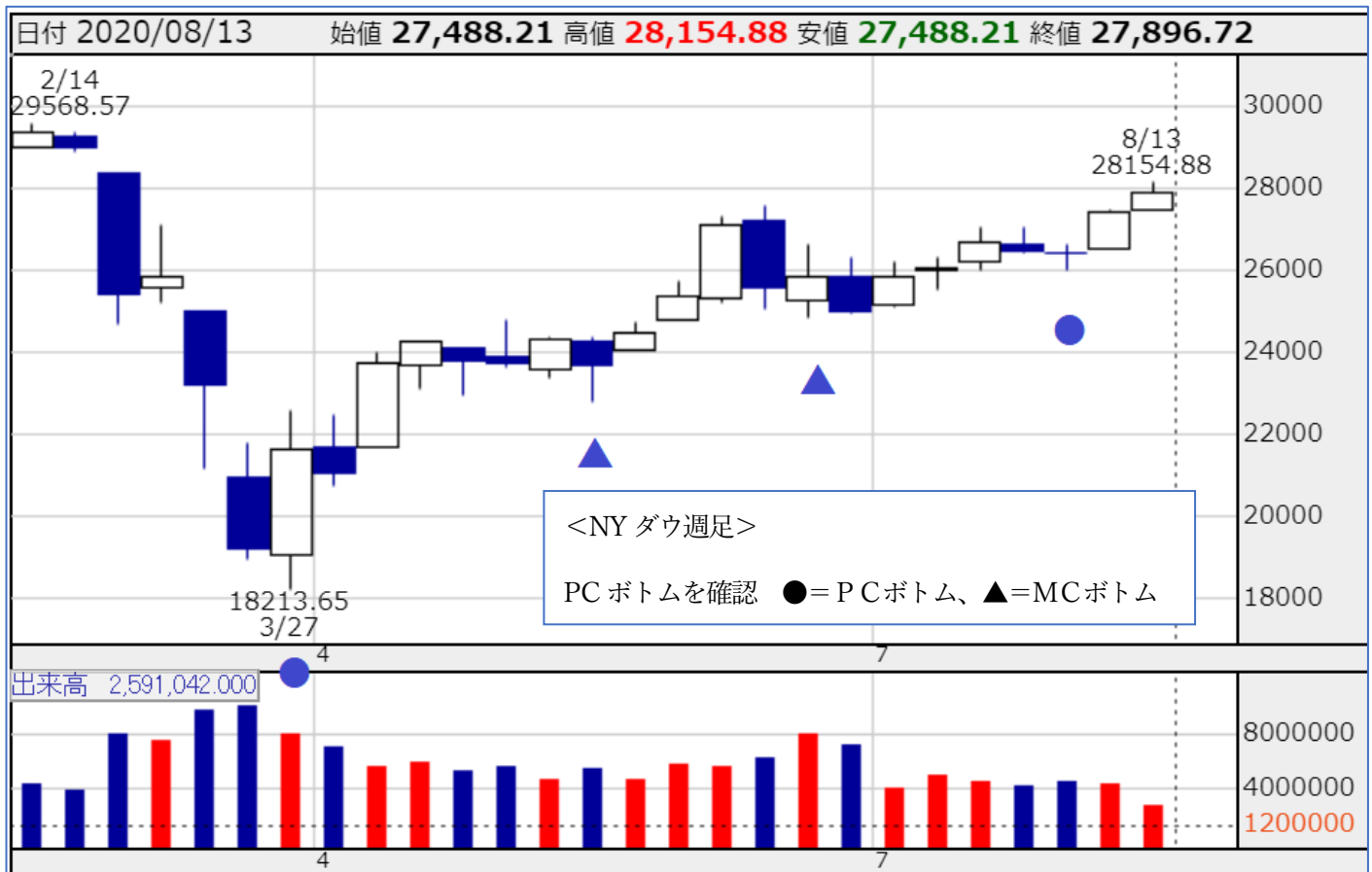


相場は7月30日の安値 25,992 以来7連騰し、その後落ち着いた。この上昇を考えると、7月30日は少なくともMC級のボトムであったか、より妥当には22.3週サイクルのボトムであったと見做すべきだろう。

2. 週足アップデート

22.3週サイクルのオーブは18~26週。7月30日は18週目であった。HPCは11週±1.5週、MCは8週（6~9週）。第一MCは7週、5週目でピークアウト、第二MCは5週、4週でピークアウト。これはオーブより短い。第三MCは6週であった。「日柄的にはオーブ（許容範囲）の時間帯に既に入っているため、今週以降いつでも急騰した場合、PCは完了しているとみなすべきである」。

このカウントが正しければ22.3週サイクルは3つのMCで構成された18週で完了した。オーブの最も短いところでボトムアウトした。しかし、第三MCがまだ完了していない、あるいは複合パターンで延長されているとすれば、第三MCの最後の上昇である可能性もまだ残っている。その場合22.3週サイクルの21週目となり、いつでも急落がありえる。しかし、このカウントは波形的に無理があるようにみえる。となると、22.3週PCはスタートしたばかりである。であれば少なくとも4~5週程度、そしてピークは早くても第二MCより、妥当には第三MCの後半につけることになるだろう。そう考えると上昇はまだ3週目であり、少なくとも8月いっぱい強いと見做すべきである。



では、2019年に作成したギャン理論による長期見通しを簡単に振り返ろう。

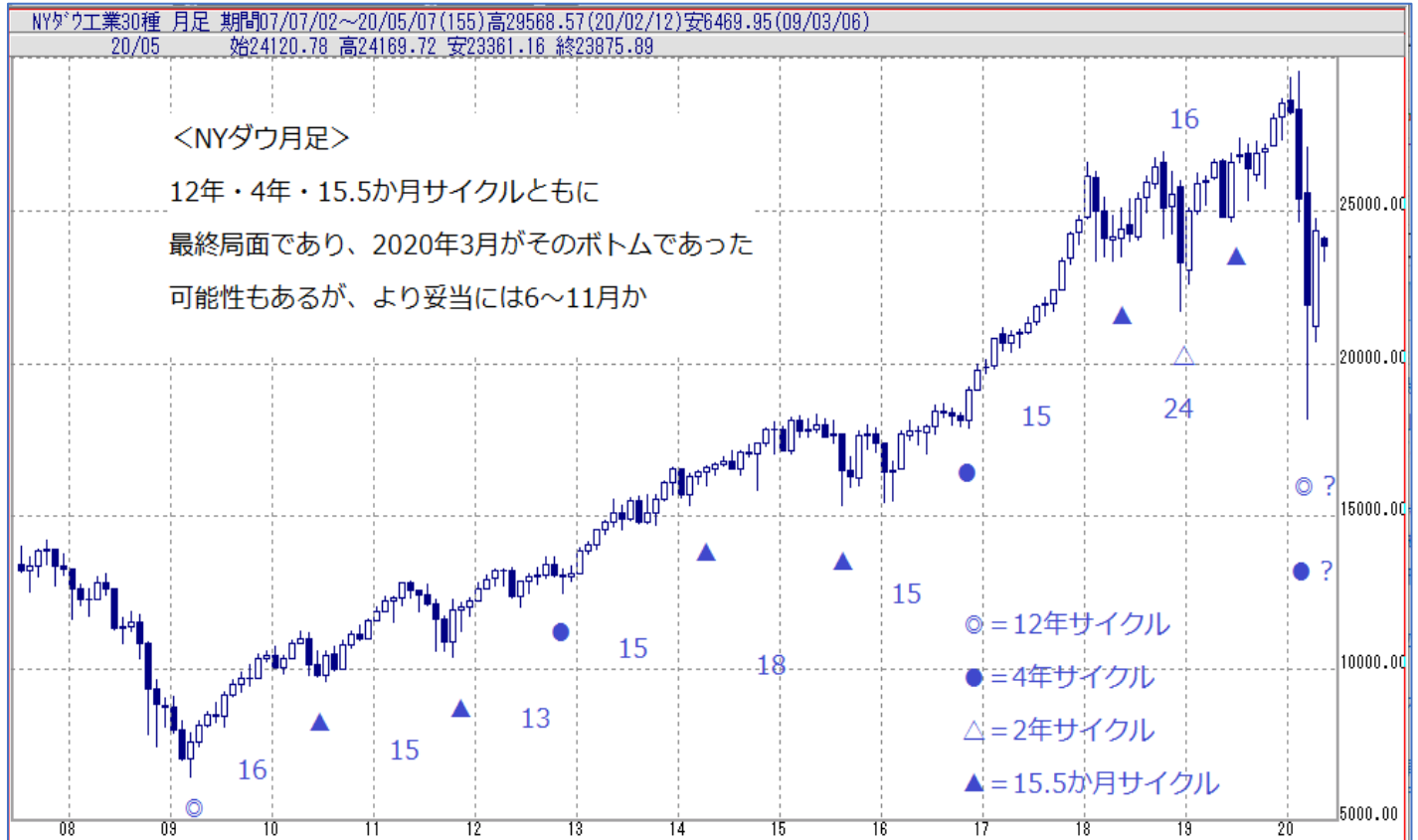
3. 「0」の年

ポイント

- 非常に弱気であり、年を通じて下落するか、殆ど上昇しない可能性が高い
- ボラティリティが高まって乱高下する性質がある
- 年初からいきなり下げ、3月前後にボトム、6月までにトップを付け再び下降が代表的パターン
- 例外的に「0」の年が上昇するのは、3年以内に大幅な調整が示現した場合のみだが、2017～18年は上昇したので該当しない

4. 長期サイクル

- 新 36 年かつ 12 年サイクルは 2009 年 3 月スタート。現在は第 1 - 12 年サイクルの最終局面
- 4 年及び 12 年サイクルトップを確認。2 年サイクルは 13 カ月、15.5 カ月サイクルは 8 カ月 — ほぼ中間地点をわずかに超えた時点でトップアウトすると予測。想定通りの展開に
- 強気を維持するならば 24 カ月サイクルはその 2 / 3 上昇、15.5 カ月サイクルも 12 カ月前後上昇するので、2020 年 6 月 ± 1 カ月 が時間的ターゲットであったが、想定通り早めのピークアウト
- 2016 年 11 月を起点とする第 3 - 4 年サイクル（レンジ 3 ~ 5 年）が進行中、長期サイクルの終了時間帯は 2020 年 10 ~ 12 月をコアとして現在 ~ 2021 年 11 月（24 カ月サイクル上のボトムは 2020 年 12 月 ± 4 カ月。15.5 カ月サイクルのボトムは 2020 年 10 月 ± 3 カ月。
- いずれの場合も過去の下落の習性（17 カ月前後）を踏襲するので、2020 年 10 月以前に長期サイクルがボトムアウトする可能性は低い



5. シンセティックス

- 理想的には2020年3~6月をターゲットとする最終上昇局面がやや早めの2月に終了
- 2022年3月を目指す大幅な下落になる可能性が66%
- 強気の場合、2020年10月までの調整にとどまり、その後2022年まで上昇を継続する

6. アニバーサリー

7月30日はさほど強力ではなかったが、PCボトムであっただろう。8月15日前後は極めて強いアニバーサリーなので、いったんピークアウトの可能性はある点は注意。次の要注意日柄は9月12日である。

| | | | |
|----------------------|-----------------------|--------------------|--------------|
| 1/1-6 | 1/19-22 | 1/29 | |
| <u>2/6</u> | 2/11 | <u>2/25</u> | |
| 3/2 | <u>3/11</u> | 3/22-27 | |
| <u>4/2</u> | 4/11-20 | <u>4/23</u> | |
| 5/1-6 | 5/12 | 5/18-22 | |
| <u>6/3</u> | 6/16 | 6/28 | |
| 7/2-8 | <u>7/15-18</u> | 7/20 | |
| 8/3-10 | <u>8/15</u> | 8/30 | |
| 9/1-4 | <u>9/12</u> | 9/29 | |
| <u>10/2-5</u> | 10/9-11 | 10/13 | 10/24 |
| 11/8 | 11/15 | 11/25-29 | |
| 12/5-8 | 12/24 | 12/31 | |

(赤は重要なアニバーサリーデイト、下線は2019年に重要だったアニバーサリー)

結論

特段好材料が出た訳ではないが、印象的な上昇であった。出来高が伴っていない点で空売りの買い戻しに過ぎないという可能性は残るが、メインシナリオはPCが18週で完了したというものである。ただし22.3週サイクルからは最終MCである可能性はまだ残っているので第一、第二MCボトムの水準である24,843、22,789といったレベルに急速に近づくような急落が発生した場合は22.3週サイクルがまだ終わっていない可能性は残る。

しかし波動的にも3つのMCと18週で22.3週サイクルは完了したと見做すのが妥当なので、押し目買いをメインシナリオとする。

以上

3. 日経平均株価分析

1. 日足アップデート



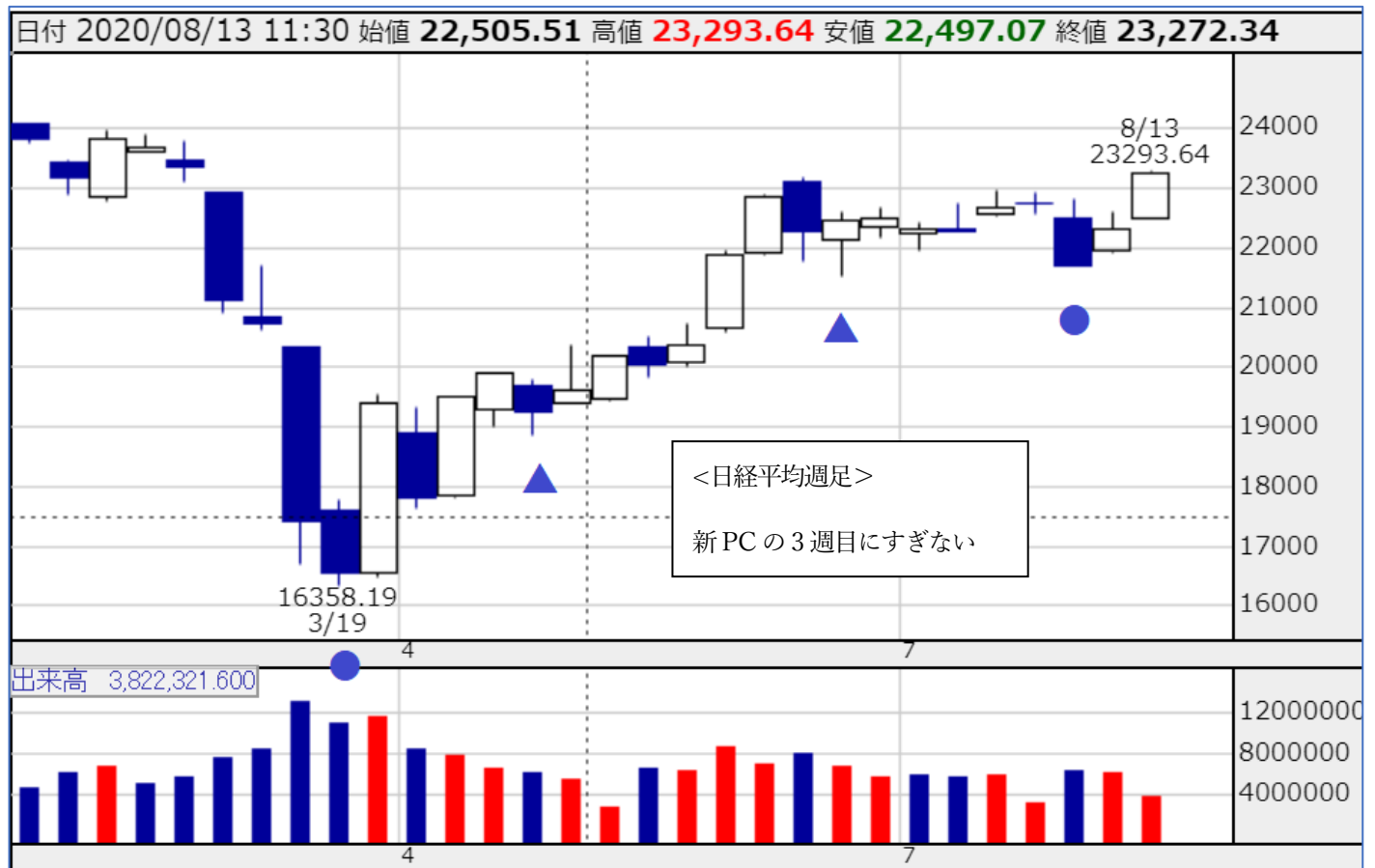
7月31日に大幅下落した後、ギャップアップ。その後の下落もギャップまでにとどまった。さらに早い下降トレンドラインAをブレイクし、13日にはより強いレジスタンスラインであるBも大きなギャップで突き抜けている。典型的なPCボトム後の値動きであり、7月31日がPCボトムであったことを強く示唆している。

2. 週足アップデート

7月31日はPCの19週目であった。PCは18週（レンジ13~21週）なので、理想的な時間帯で反転した。

「MCも6週±2週なので、標準的な日柄の長さであればこれも反転タイミング。なお、日柄に関しては注目していた月末~8月の米雇用統計の時間帯に入ってくる。このタイミングで大幅反転が確認できれば、PCはボトムを打ったことになる」。上述の通り、セットアップとしても文句なしの反転だった。

これが正しければ、今週はPCの3週目である。PCは4~7週程度上昇するので、依然押し目買いが有効である。



(●=PC、▲=MC)

ここからはガン理論を簡単に確認しておく。

3. 「0」の年

- 78%の確率で下落ないしはレンジ相場となる
- 10年の中で最も弱い年で特に前年が強い場合好対照となるケースが多い
- 弱気のパターンは2つ。年初からいきなり下げるか、3～6月までは上昇し、その後大幅下落に至る
- 1月20日が高値であったので、年初からいきなり下げるパターンが示現したとみなす

4. 長期サイクル

- 超長期サイクルは2008年11月にボトムアウト
- 超長期サイクルは17年サイクル3つからなり、17年サイクルは4年サイクル4つ、あるいは3年サイクル5～6つからなる
- 2020年は2016年6月からの4年サイクルの最終局面で、15.5カ月サイクルの位相も考えると、長期サイクルのボトムは2020年4月前後(2019年12月～2020年9月)であった
- 2020年3月安値が15.5カ月サイクルの15カ月目であったことから、15.5カ月サイクルならびに4年サイクルボトムである可能性が高い
- だが、「0」の年のパターンからは長期サイクルが3月にボトムアウトし、そのまま上昇というパターンは描きにくいので、再度下降があり得る。ただし、下落が再開しても22,000レベルまで戻したことによって最悪でもダブルボトムのレベルにとどまる。



5. シンセティックス



- 2020 年前半はかなり厳しいポイント 1 への下落相場。ポイント 1 の想定時間帯は 2020 年 6 月～9 月だったが、3 月に前倒し。
- 夏場に高値、11 月頃に安値が到来する可能性があるが、より妥当には 2020 年 1 月あるいは 3～5 月をターゲットとする上昇波動に入っている。

6. アニバーサリー

下線は歴史的アニバーサリーで重要な時間帯（★は 2019 年に強力だった時間帯）。

月末で PC ボトムを確認した。8 月 7 日は押し目の底。14~17 日はとりあえずの高値か。

| | | | |
|-------------|--------------------|--------------|--------------|
| 1 月 4-7 日 | 1 月 12-16 日 | 1 月 18-24 日 | 1 月 29 日 |
| 2 月 3 日 | 2 月 10-16 日 | 2 月 26-29 日 | |
| 3 月 2 日 | 3 月 12 日 | 3 月 25-30 日 | |
| 4 月 1-11 日 | 4 月 14-17 日 | *4 月 24-28 日 | |
| *5 月 2-7 日 | 5 月 19 日 | 5 月 22-23 日 | 5 月 31 日 |
| 6 月 1-2 日 | 6 月 4-6 日 | 6 月 12-18 日 | 6 月 29 日 |
| 7 月 5-9 日 | 7 月 13-14 日 | 7 月 18-21 日 | 7 月 28 日 |
| 8 月 6 日 | 8 月 17 日 | 8 月 20 日 | 8 月 28-31 日 |
| 9 月 5 日 | 9 月 8 日 | 9 月 18-21 日 | 9 月 27 日 |
| 10 月 2-11 日 | 10 月 15 日 | 10 月 20-28 日 | |
| 11 月 1 日 | 11 月 7~11 日 | 11 月 16 日 | 11 月 21 日 |
| 12 月 1-7 日 | 12 月 17 日 | 12 月 26 日 | |
| 11 月 1 日 | <u>11 月 7~11 日</u> | 11 月 16 日 | 11 月 25-27 日 |
| 12 月 1-7 日 | 12 月 17 日 | 12 月 26 日 | |

結論

季節性と「0」の年のパターンから反転の判断は慎重に、と考えていたが、ギャップアップと次々とレジスタンスラインをブレイクするあたり、文句なしのPCボトムであったといえるだろう。アノマリー的にもついてこれられない市場参加者は多い筈で、短期的に過熱感があつたとしても数週にわたる上昇が始まったばかりであり、押し目買いが有効である。

やはり長期サイクル—4年と15.5カ月サイクルが3月に同時ボトムアウトした相場は強い。

ただし、PCのスタート地点である21,710を割り込む相場は、前PCが終わっていないか、あるいは新PCが極端な下落に転ずることを示唆するので、いったん撤収とする。

以上

《お知らせ》投資日報 春季勉強会 (で話すはずだった) レジューメ 発売中

* 詳細は弊社WEBサイト (https://www.toushinippou.co.jp/products/list.php?category_id=10) まで

投資日報 夏季WEB勉強会 DVD発売！！

* 詳細は弊社WEBサイトにてお知らせいたします

【お知らせ】

短期売買 100 の法則 (増補改訂版)

第2巻：ローソク足とチャート・パターン②とサイクル・トレンド判定法

好評発売中！！

* 詳細はkindleストア (<http://urx.space/YG3S>) をチェック！

* 当方レポートを無断で複写、配布されることはご契約違反となります。ご契約違反行為が発覚いたしました場合は、法的な処置を取ることもありますのでご注意ください。同時にレポートのご購読期間内であっても配信を打ち切らせて頂きます。何卒ご了承の上、宜しく願い申し上げます。

* このレポートは将来の見通しの適確性、または収益性を保証するものではありません。トレーダー及びレポートの読者は自己責任で取引してください。当レポートの筆者、発行人共に市場における各参加者の決断については一切責任を負いません。銘柄を問わず、現物、先物、オプション取引は高リスクを伴うと考えられています。